

評価結果調書

1 事業の概要について

項目	内容
① 事業名	大阪市保健所庁舎整備事業（安土町複合施設改修工事）
② 担当部署	健康局大阪市保健所管理課（06- 6647-0660）
③ 事業目的	大規模感染症対応業務を一元的に担うことができる保健所施設を整備する。
④ 事業内容	ヴィアーレ大阪（安土町複合施設）を大規模改修し、保健所施設として活用する。

2 PPP/PFI 手法を導入しないこととした理由について

定量評価においては財政支出の削減が期待されるものの、定性評価においては、施設の部分改修であるため事業者参入の可能性が低いことや、新型コロナウイルス感染症はもちろん、令和 7 年の万博開催に関する健康危機事象や災害時の体制への備えも急務であることから、本事業においては PPP/PFI 手法は不採用とした。

3 定量評価結果

	従来型手法	選択した PPP/PFI 手法 (BTO 方式)
① 整備等費用 (運営費除く)	13.4 億	12.1 億
＜算出根拠＞	概算見積等により算出	従来型手法より 10%削減の想定
② 運営費等費用	19.7 億	17.8 億
＜算出根拠＞	同規模施設を参考に算出	従来型手法より 10%削減の想定
③ 利用料金収入	0	0
＜算出根拠＞	算入せず	算入せず
④ 資金調達費用	0.1 億 (13.4 億円(整備費用)×6.7% (起債充当率)×起債利率 1.3%・償還期間 20 年の元利 均等償還)	2.4 億 (12.1 億円(整備費用)-0.1 億 円(資本金)=借入金×借入金 の利率 1.8%・返済期間 20 年 の元利均等返済)
＜算出根拠＞	想定される起債充当率、起債 利率、起債償還方法(償還期 間、償還方法)をもとに算出	公共が自ら資金調達をした場 合の利率に 0.5%を上乗せ
⑤ 調査等費用	—	0.25 億
＜算出根拠＞	従来型手法の場合は想定せず	導入可能性調査の費用及びそ の後の業務委託の費用の想定
⑥ 税金	—	0.03 億
＜算出根拠＞	従来型手法の場合は想定せず	各年度の損益に法人実効税率 32.11%を乗じて算出
⑦ 税引後損益	—	0.06 億
＜算出根拠＞	従来型手法の場合は想定せず	EIRR が 5%以上確保されるこ とを想定
⑧ 合計	33.3 億	32.6 億
⑨ 合計(現在価値)	28.5 億	25.2 億
⑩ 財政支出削減率		VFM は 3.3 億円 11.7%

(VFM 試算)		
⑪ その他 (前提条件等)	事業期間 20 年間 割引率 2.6%	事業期間 20 年間 割引率 2.6%